

難波田城だより

2015年夏

64号

編集・発行

—難波田城公園・難波田城資料館ニュース—

NEWS from NANBATAJO

富士見市立難波田城資料館

夏休み、古民家宿泊体験

市民学芸員 横溝 敦子

梅雨が明けるともうすぐ夏休みですね。
夏休みの思い出はいろいろありますが、一つは母の実家に遊びに行ったことです。

母の実家は、埼玉県熊谷市のはずれにある農家でした。いまから40年ほど前は、まだ茅葺屋根の母屋があり、広い庭には土蔵と、農作業を行う納屋、裏には小川が流れていました。

母屋の土間にはかまどがあり、そこでご飯を炊いたりして、マキをくべたり、火の番をお手伝いしていました。また、お風呂は五右衛門風呂でした。側面が熱いので、ふれないようにしながら木の板にうまく乗るのが難しかったです。

そんな古い家に泊ると、大きな仏壇や、額に入れて飾られているご先祖様の写真があったり、寝る部屋にはなぜか般若のお面が掛けられていて、天井のシミも人の顔に見えたり怖いものだらけでした。極め付けはトイレが家の外にあったことです。とても怖くて、夜は一人では行けません。また養蚕もしていたので、土間に作られた蚕棚から蚕が桑の葉を食べる音が聞こえて夜中もなかなか寝付けず、布団をかぶっていました。その後、日中では一転、楽しくとこたちと遊びました。

怖かったこと、楽しかったことも今では貴重な体験になっています。



古民家宿泊体験 うどん作り



古民家宿泊体験 みんなでラジオ体操!

最近では、田舎に帰ってもそんな体験はできませんが、ここ難波田城資料館では、毎年夏休みに、貴重な文化財でもある古民家に宿泊する体験を実施しています。

竹で自分の箸とコップ作り、夕食は自分たちでうどんを粉から作って茹でて、お風呂はもちろん五右衛門風呂です。

夜はちょっと怖い冒険や花火をしたりして、皆で蚊帳を吊った中で寝ます。

朝はラジオ体操で目が覚めたら、かまどでご飯を炊いて、七輪でお魚を焼き、お味噌汁と漬物、新鮮な卵で朝食です。

午前中は工作をして、お昼に流しそうめんを食べたらあっという間に終了です。

普段お家で何もしない子も、ここでは自分で動かないと何もできません。働き者だったちょっと昔の子供たちを思って2日間、頑張ってみましょう。

今より暗闇にいろんな想像ができた時代をちょっと体験してみませんか。

*参加者は富士見市内在住の小学4年～6年生です。

市民学芸員のページ *このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。

難波田城 ちよっと拝見 みどころ紹介

古民家シリーズ①『土間』

古民家への第一歩は土間から始まります。旧大澤家住宅・旧金子家住宅に共通していることは、土台となっているシキイをまたぐと、豪壮な小屋組みの下にある土間に踏み込むことにあります。

古民家の土間は構造としては三種の材料を混ぜて打ち固めた三和土になっていきます。旧大澤・金子住宅の復原工事にあたっては「良質の荒木田土に消石灰、塩化カルシウムなどを混ぜ合わせたものを棒で叩き締めた」と記録されています。

古民家における土間は多様な用途に使われています。作業場、貯蔵場（あるいは置き場）、カマド、台所、ウマヤ等々おおよそ日常生活に関わるほとんどの作業がここでなされてきました。

旧大澤家住宅の場合、土間には神棚があります。移築前には大戸の正面のカマド脇に荒神様を祀っていたと記録されています。

土間が単なる作業空間でなく生活と密着した信仰・祭祀の場でもあったことが読み取れます。（西尾 勉）

（参考資料・富士見市教育委員会「富士見市立難波田城公園古民家復原工事報告書」・日本民俗建築学会編『図説民俗建築大事典』他）



旧金子家住宅土間



旧大澤家住宅土間
写真中央上に神棚がある

おもしろ・なつかし体験④

五右衛門風呂

このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

5月5日のこどもの日に、旧大澤家住宅にある五右衛門風呂への入浴体験がありました。マキの燃える匂いととも、菖蒲の葉を浮かべた湯船からは、ほんのりと季節の香りがただよっていました。大きな釜を使った五右衛門風呂がある風呂場は、土間から



お風呂はマキで焚きます

からすぐに入れるようになっていきます。この日は、水着を着た15人の子供たちが入れ替わりながら、昔のお風呂での入浴の楽しさを味わ

っていました。「気持ちよかった」「また入ってみたい」「煙の匂いがして、おもしろかった」などの感想が聞かれました。湯船につかる子供たちの様子を、お父さんやお母さんたちもうらやましそうに見ていました。

今回は、風呂場の前に五右衛門風呂のお湯と菖蒲の葉を入れた足湯も用意して、30人以上の方に五右衛門風呂の温かさを味わってもらいました。

五右衛門風呂体験は、毎年夏休みの古民家宿泊体験でも行われ、子供たちが楽しみにしているイベントの一つになっています。（古澤 立巳）



いい湯だな～



菖蒲を持って足湯につかる…

人の創ったもの★人の使ったもの

喜太郎さんのスケッチブック

6 月 14 日まで特別展示室で開催中の企画展「古老が描いた昔」の展示資料について解説します。

記憶遺産

今から 5 年前の 2010 年 3 月、山本作兵衛さんが描いた筑豊の炭鉱画 697 点がユネスコに「世界記憶遺産」として登録され、話題になりました。

世界記憶遺産とは、人類の文化・歴史の記録として後世に受け継ぐべき重要なものです。アンネの日記やマグナ・カルタの原本などが登録されています。

登録された遺産は証文や日記、写真、映像など、できごとと同時に記録されたものがほとんどですが、作兵衛さんの炭鉱画は、記憶を振り返って絵にした記憶画です。

記憶画

過去の記憶によって描く「記憶画」は、次のような長所があります。

- ・写真に記録されていない事物も描かれる
- ・特徴が明確に示される
- ・文章や写真より親しみやすい

ただし、後の経験や知識が影響することもあり、純粋な記録ではない点に注意を要します。

このコーナーでは、当館所蔵の資料を紹介します。今では使われなくなったものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。



渋谷喜太郎さん

渋谷喜太郎さんは、明治 40 年(1907)に南畑村で生まれ、豊かな自然と田んぼに囲まれながら育ちました。小学校高等科を卒業したのち人形職人となり、実家で暮らしました。

昭和 53 年(1978)に「こうれい学級」に参加した頃から、昔の体験を文と絵で残し始めました。そのスケッチが注目されるようになると、南畑公民館だよりや市内小学生向けの社会科副読本などに掲載され、地域の人々に親しまれました。

遺された作品

平成 5 年(1993)に喜太郎さんが亡くなった後、遺された作品は、公民館や資料館で預かった後、本年 1 月に遺族から当館に寄贈されました。

18 冊のスケッチブックや約 300 枚の画用紙に、800 点を越える作品が描かれています。かつての農や漁、暮らし、習わし、子供、伝説、風景などが叙情豊かに描かれています。一部は、色鉛筆や水彩絵の具で彩色されています。その作品世界に接していただけるよう、作品集 DVD も制作しました。当館や図書館でごらんいただけます。

(早坂廣人)



暑さにまけるな!



夏のイベント予定

◆難波田城公園クイズラリー開始!

なんぼったコース(小学生向け)と善銀コース(中学生～大人向け)があります。園内をまわって、答えを探します。開館中はいつでも挑戦できます。(6/7 まつりの日はお休み)

参加賞としてオリジナルシールがもらえます。



●ゆかた着付け教室

着付けと帯結びを覚えます。

とき/6月27日(土)午前10時～正午
会場/講座室 対象/中学生以上
定員/15人(無料・申込順)
指導/和道文化着装協会
申込み/随時、電話または窓口で



●じゃがいも掘り

とき/6月28日(日)午前10時～正午
集合場所/旧金子家住宅前(畑は公園の隣です)
定員/30組(申込順) 参加費/1組1000円
主催/難波田城公園活用推進協議会
申込み/6月6日(土)午前9時から電話で

●竹かご教室

「六ツ目かご」を作ります。

とき/6月21日(日)午前9時半～午後4時
会場/旧金子家住宅
対象/中学生以上
定員/10人(申込順、初参加優先)
参加費/1000円
指導/資料館友の会竹かご部会
申込み/5月31日(日)～6月9日(火)に電話で

●糸つむぎ(糸車)体験

とき/7月30日(木)、8月6日(木)
午前10時～正午、午後1時～3時
(体験は5～10分程度)

会場/旧大澤家住宅 対象/子ども～大人
指導/資料館友の会木綿部会

●ふるさと体験「藍の生葉染め」

藍の葉で絹のストールを染めます。
とき/8月1日(土)午前9時30分～正午
※雨天の場合は2日(日)に延期
会場/旧金子家住宅 材料代/2000円
定員/10人(申込順、初参加優先)
指導/河野悦子氏(染色愛好家)
申込み/7月1日(水)～5日(日)に電話で

●子ども裁縫教室～ポシェットをぬおう～

縫い物の基本を習い、ポシェット(よこ14cm×たて14cm)を作ります。夏休みの宿題にも!
とき/8月5日(水)午前10時～午後2時
会場/講座室
対象/小学生～中学生 ※小学2年以下は保護者同伴
定員/15人(申込み順) 参加費/200円(材料代)
指導/美楽の会
申込み/7月1日(水)午前9時から電話で

●夏休み古民家宿泊体験

古民家に泊まって、昔の暮らしを体験しよう!
とき/8月8日(土)午後1時～9日(日)午後1時
内容/竹細工(コップや箸)、手打ちうどん作り、ごえもん風呂、七輪で焼き魚など
対象/市内在住の小学4～6年生
定員/16人(申込順) 参加費/1500円(材料費・食費)
申込み/7月1日(水)午前9時から電話で

●早朝の蓮を見学できます

蓮が、7月に見ごろを迎えます。7月の土・日・祝日は、午前6時に開園します。なお、資料館や古民家は通常どおり午前9時開館です。

●ちよっ蔵市(難波田城公園活用推進協議会主催)

6月28日(日)ふかしいも
7月26日(日)流しそうめん
8月はお休みです。

田舎まんじゅう販売
第1、3日曜日 10:30～
お月見亭(予約制手打ちうどんランチ)
第2火曜日 11:30～13:30

※他にも様々なイベントがあります。各イベントの詳細は、広報ふじみやポスター、チラシ、公式サイトなどでお確かめください。



編集・発行/富士見市立難波田城資料館

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1 TEL. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

富士見市役所公式ホームページ <http://www.city.fujimi.saitama.jp>

◆資料館休館日/月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間/午前9時～午後5時
◇公園休園日/なし 開園時間/午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)